



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和6年度学校だより
No.2 5月号
令和6年5月1日(水)

燦々照今 よりよき今をともに創らん

今年度も一か月が過ぎ去りました!!

今年の春の訪れは、ほぼ平年並みだったのでしょうか。4月10日の入学式に時を合わせるように校庭の桜の花は満開となり、ほんのりとした艶やかさを式に添えた幕開けとなりました。あれからほぼ三週間になりますが、当日のことを少しだけ振り返ってみます。

佐野中学校の入学式、実に壮大でとてつもなく立派なものでした。その土台となるのは体育館の美しさにあります。式場と化した場に足を踏み入れ、その荘厳さと凛とした雰囲気は驚いていたように感じ取れました。さらにそれに拍車をかけたのは、吹奏楽部の演奏です。館内に轟く力強く洗練された *harmony* は1年生を圧倒しました。中学生の奏でる音に直に触れて

「中学校っていったいどんなところなのだろう」といった思いがよぎった人もいたかもしれません。でも、新1年生のみなさんもすでに中学生です。打ち込めるものを見つけて、それに時間を注いで、自分の可能性を大きく広げてください。一生懸命になれるものに出逢えたら、気づいたときにはいつの「間」にか成長しているものです。自分の本当の夢を探し、それを見つけて、その理想の実現に向けて自分を耕し続けてください。先輩たちの立派な後ろ姿を見ながらよりよく自分を磨き、そしてよりよい学校づくりに力を貸してください。よりよい「今」をともに創って、佐野中をさらに発展させていきましょう。



新1年生は、入学して早々に、交通安全教室として、市内の「安全運転中央研修所 附属交通公園」に行きました。2クラスずつ、三日間に分かれての活動です。

当日は、主に交通ルールについての講義を聞いた後、自転車の乗り方について演習を行いました。その様子をよく見ると、自転車を運転する技術は、人によってまちまちのようです。すでに自転車の運転はできても、小学校時代にどれだけ自転車を利用して生活をしていたかには個人差があるようで、乗りこなすにも違いが見て取れました。ましてや、中学校への登下校で使用する通学自転車は、多分、自転車のタイヤの口径も大きく、サドルも高くなるためにかつてのようにはいかず、おぼつかなさも垣間見えたようです。まずは安全運転を第一に心がけましょう。

何にしても入学して早々の校外での学習、とてもよい思い出になったようです。

4月19日(金)には、新入生歓迎会を開催しました。これまた入学式のときのように、小学校と中学校の違いを大きく感じる機会となったのではないのでしょうか。生徒会の本部役員を中心に企画されたこの歓迎会、様々な趣向が凝らされていて、1年生にはたくさんの笑顔が見られました。

特に印象に残ったのは、「佐野助ダンス」と「エール」です。体育館の壇上上がった2・3年生の面々は、物怖じすることなく、堂々とした態度で発表しました。佐野中には「佐野助」と「のぼらちゃん」の二つのマスコットキャラクターがありますが、そのどちらにも着ぐるみがあることを知りました。

エールの中心になったのは、中央に陣取った二人の女子です。実に気合いが入っていて頼もしい限りでした。ぜひ、今の1年生にも見習ってほしい元気な「声」でした。

この場で1年生にお願いしたことは三つですが、一つだけ紹介します。

それは、できるだけ早く佐野中の校歌を覚えてほしいということです。一番から三番まで空で覚えて、声高らかに先輩たちとともに歌えるようになる日を待ち望んでいます。

『歌えよ 若人 佐野の中学』



智仁武勇



生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時と空 人の間を 燦々と 照らし続けて 輝かす今

各学年の様子から 今月の3枚!!

1年2組は学級訓「友情・努力・絆」のもと、35人で声をかけ合い、あたたかい雰囲気です。写真は学活の様子です。5/11(土)に開催される体育祭の各種目の走順やチーム分けについて話し合っています。団結して勝利を目指すべく、みんな真剣な表情です。体育祭当日、1年2組の団結力に御注目ください。



2年1組 総合的な学習の時間の様子です。校外学習のスローガンを考えるにあたって、何のために行くのか、埼玉県川越市はどんなところなのか、どんなものがあるのかなど、主体的に調べ学習を進めました。

興味のあるものをどんどん見つけて、生徒たちは楽しそうに活動していました。校外学習が楽しみです。

この写真は、学級開きを行って間もないころ校庭で撮った集合写真です。この後、校庭で自由時間を取りました。その際、担任が声を掛けずとも、指定した時間に集合することができました。その姿に感動し、思わず自由時間を延長してしまいました。3年1組の生徒のすばらしさを見せてもらえた日となりました。



こちらのページ、「佐野中通信」の裏面には、できうる限り毎号、各学年の様子を掲載していきます。作成にあたっては、先生方みなさんに協力をさせていただき予定です。佐野中では、学級通信にかなり力を入れていることが分かりました。担任の先生たちは、各学級でそれぞれに直接かかわる生徒に伝えたいメッセージがたっぷりあるようです。そのエネルギーを「学校だより」にも少し分けてもらおうと思っています。

今月号から、各学年から毎月1名ずつ先生に執筆を依頼し、写真とともに原稿を書いてもらいます。年齢も経験も興味関心も異なる一人ひとりの先生が、どんな記事をいかなる言葉で書き表すのかとても楽しみです。字数に制限を設けたので多くは書けませんが、条件はみな一緒です。競い争わず、共に創っていきましょう。

順番がもしかしたら逆かもしれません。この裏面のタイトルは『智仁武勇』です。一般的には「智」ではなく「知」を使う「知仁武勇」と書く四字熟語ですが、ここでは「智」を使うこととしました。理由は、個人的には、書き表したときに四文字のバランスがよく見えるからです。実際に書いて比べてみてください。

読み方は、自分で調べてみましょう。ただし、インターネット以外の方法で調べてみてください。今の世の中、調べることについては、スマートフォンやパソコンで検索すれば、すぐに答えに辿り着いてしまうので、他の方法を考えてみてください。実際のところインターネットがなかった時代は、知らない言葉に出逢ったときにはどうやって調べていたのでしょうか…。

最後にこの言葉 - タイトルに込めた意味は、「よいおまじないをかける」というものです。本来の意味をかなり広げて用いています。このページに佐野中のよい様子をよい言葉で書き綴り続けることで、多くのよきことに恵まれてほしいという祈りを込めています。